

2007年11月1日

印旛普及だより

第11号

〒285-0026 佐倉市鎗木仲田町8-1 TEL:043-483-1130 FAX:043-485-9502
ホームページアドレス <http://www.agri.pref.chiba.lg.jp/apcenter/inba/>
発行：印旛農林振興センター振興普及部改良普及課・印旛地域農林業振興普及協議会

直売所の集客力アップ作戦

■定期的なイベントで消費者との交流促進を図る

最近、農産物の売り方も多様化し、印旛地域でも27店の直売所ができ消費者にひたしまれています。しかしながら数が増加するにつれ、特色のある直売所でないとお客様が入らない状況にもなりつつあります。

イベントを定期的に開催し、消費者のニーズの把握に努め、運営しているJAいんば四街道市産直組合(通称マイファーム)の取り組みを紹介します。

■消費者の笑顔がこぼれる
まず、マイファームで春に行われているのが家庭菜園向け野菜の栽培講習会です。この時期、野菜苗の販売が行われていますが、野菜の栽培方法がわからないとの声に答え、農家自らが講師になって行うものです。

次に夏と冬に消費者感謝イベ

ントを開催しています。夏には定番のトウモロコシやスイカの試食会、冬には餅つき大会と農家自慢の品物が配られます。

その中でも好評なのが、冬のイベント時のキャンドルスタンドの製作・ミニ門松づくり体験です。身近にあるものを使い手軽にかわいいものが出来ます。



キャンドルスタンドづくり

メインとなるイベントは、収穫体験と地域農業のPRのための四街道市農業体験講座です。

毎年10月下旬に3種類の内容のものを組みあわせて行っています。昨年は、芋ほり・ハローウィンカボチャのくり抜き体験・花苗の寄植、今年は芋ほり・花

苗の寄植と手打ちうどんづくりを行っています。

また、地元幼稚園児の農業体験を支援する活動も行っています。



花苗寄植体験

■組合員の負担は多いけれど
これらイベントは事前準備を含めると、収益的には良いものではありませんが、消費者からの“楽しい・翌年もぜひ続けてほしい”との声を励みに取り組んでいます。

今後とも野菜の新鮮さ・美味しさだけを売るのではなく、農業の楽しさ・大切さを消費者に伝えていくような活動を期待しています。

稲ワラを収集し肉牛の飼料に！

最近、世界的に穀物の相場が高騰し、畜産農家に飼料価格の値上がりを招き、大きな影響を及ぼしています。

畜産農家、特に肉牛農家では国産稲ワラの粗飼料としての需要が高く、安定的に適正な価格での確保に懸命です。

■ 耕種農家が稲ワラ収集

印旛村の「アグリ稲庭」（代表吉野正明氏）は、水稻や野菜を生産してきましたが、この秋から稲ワラの収集・販売に取り組んでいます。

稲ワラは、ロールベーターで直径1mのロールに梱包し「北総肉牛生産組合」の肉牛農家に供給し、飼料として利用されています。

畜産農家が稲ワラを収集・利用することはよくありましたが、「アグリ稲庭」のような水稻生産者が稲ワラを収集し、畜産農

家に供給する仕組みは管内では初めてです。稲刈りと稲ワラ収集作業が競合すること、また天候に作業が左右されるなど苦労はありますが、今年度は10h aを目標に収集しています。



■ 堆肥散布

稲ワラ収集の他堆肥の散布作業も行うこととし、稲ワラを収集した田などに畜産農家の堆肥を散布したり、堆肥散布の作業請負も開始します。

まだ始まったばかりの取り組みですが、耕畜連携による未利用資源（稲ワラ・堆肥）の利用

促進が期待されています。待望のサトイモ新品种

「ちば丸」来年度より登場

千葉県は栽培面積、生産量とも日本一のサトイモ産地です。そのなかでも印旛地域は、特にサトイモの生産が盛んな地域として全国的に知られています。

印旛地域で最も多く栽培されている品種は、「土垂・どだれ」ですが、食味が優れている反面、形状が細長いため収穫調整に手間がかかり、皮むきがしにくいという欠点が指摘されてきました。

■ 「ちば丸」の品種特性

千葉県農業総合研究センターが育成した「ちば丸」は、丸くて大きい品種特性と、調理しやすく美味しくなるとして、大きな期待が持たれています。

「ちば丸」は平成二〇年度より種子供給され、本格生産が開始されますが、印旛地域における適応性を検証するため、印旛

管内の畑で試験栽培を継続的に実施したところ、従来品種に比較して格段に上位等級率（収量に占める商品率）が高く、作業性も良好でした。

食味においては、サトイモ特有の粘液の含量が少なく、淡泊な味わいが特徴で、不特定の消費者を対象とした食味調査結果では、七割以上のお客様から、「美味しい」との評価をいただきました。



■ 今後は

「ちば丸」を印旛地域を代表するブランド品として育成するため、生産技術から販売戦略まで鋭意取り組んでいきたいと考えています。

施設園芸の省エネルギー対策

「施設・機械の点検をして冬に備えましょう！」

ここ数年続いている原油価格の高騰はこの冬も収まる気配がなく、暖房を使う経営の方々には厳しい冬になりそうです。

良品質・安定収量を得るためにも適正な温度管理は必要です。ハウスの点検・暖房機械の整備を行って、できるだけ油代を抑える努力をしましょう。

暖房機の点検

暖房機は定期的に点検・整備を行い、トラブルとエネルギーの無駄を防止しましょう。

① シーズン前には燃焼室内の掃除を行い、燃焼カス（すす等）の除去を行う。

*シーズン終了時に行うほうが良いので忘れずに！

② バーナーノズルの清掃と定期的な交換を行う。（磨耗したノズルはトラブルの元）

③ 適正な空気量が供給されるように、エアシャッターを調整する。昼間に暖房機を運転し、煙突からの煙が無色になるのを確認する。

白煙 ↓ 開けすぎ
黒煙 ↓ 閉めすぎ

熱の放出を抑えるための対策

内張りカーテン・2重カーテンも設置方法によっては効果が下がってしまうので注意して設置しましょう。

① 内張りカーテンは合わせ目などにすきまがないように設置する。（下図参照）

② 側面カーテンの裾部分は、冷気が流れ込まないように重しをして床面に固定する。

また、側面に更に1層の資材を張ることも有効。

③ 暴風垣・防風ネットを施設

の北側や西側に設置し、風による被覆面からの熱の放出を抑える。

暖房効率向上のための対策

温度計を暖房機付近・ハウス中部・暖房機から一番離れた場所の3箇所を設置し、施設内の温度ムラをチェックし、対策を行いましう。

① 送風ダクトの点検を行う。

特に、取り付け部の破れは暖房効率を大きく低下させるので注意する。温度ムラが大きい場合はダクトの配置も見直す。

② 循環扇を利用して、施設内の温度分布を均一にする。

*設置コストがかかるが、湿度対策にも効果あり！

農家の若い女性を対象に

「アグリ講座」を開催

「農業の基礎的なことを勉強したい」「同年代のネットワークがしたい」方、是非御参加下さい！

■講座の対象

八街市及び富里市の農家の女性で40才代半ばまでの方。

■共催

八街市・JAいんば・八街市農業研究会・アグリライフやちまた、富里市・JA富里市・富里市農業男女共同参画推進事業委員会

■会場

八街市会場（八街市総合保健福祉センター他）

富里市会場（JA富里市他）

■日時・内容

八街市会場は、12月11日から全3回行います。

富里市会場では、初回10月16日から全4回ですが、途中からの参加も可能です。

内容は、農薬や土づくりの基礎知識や現地視察等予定しています。詳細は、農林振興センター又は富里市産業経済課・八街市農政課にお問い合わせ下さい。

千葉県農山漁村いきいきアドバイザーに認証されました！

農山漁村のパートナーシップを推進するために、今年度より印旛地域から2名の方がアドバイザーとして認証されました。

農山漁村のパートナーシップを推進するために、今年度より印旛地域から2名の方がアドバイザーとして認証されました。



菊間節子さん
(佐倉市)



武藤栄子さん
(白井市)

女性の参画活動をどうすすめてらよいか、お二人の経験からアドバイスが期待されます。

「成田栗」の出荷始まる

四七年の歴史を誇る成田市栗生産組合（組合員一〇九名）で栗の出荷が始まりました。

今年は豊作、このペースだと目標を上回る五〇トン以上の生産が見込まれ、しかも猛暑のため甘味も期待できそうです。

市内六ヶ所の集荷場から九時前にJA成田市集配加工センターに集められ、最盛期には夕方まで、選果作業が続きます。

「成田栗」として、毎年、都内、横浜方面に出荷され、好評を博しています。



選果（不良果除去）作業

農業塾 農業に関心のある定

年退職者・転職者等が対象。

研修期間 3日間。

就農準備講座

土曜又は日曜を利用して基礎的な農業知識の習得と農作業等を体験します。

農業者養成研修

県内での新規就農者を対象に講義・実習・先進農家の体験が出来ます。

研修期間 3ヶ月・6ヶ月、1年

アグリチャレンジファーム

県の施設を有料で借り受けて実践的な生産・販売を行います。

研修期間 1年間。

詳細は左記にお問い合わせ下さい。

千葉県農業大学校東金市家之子

1059 TEL0475-52-5140

<http://www.pref.chiba.jp/noudai/>